

平成 20 年 12 月 24 日

昭和の町をコンセプトとしたまちづくりと江戸文化を活用したまちづくりの融合

① 商店街活性化・空き店舗対策

- ・商店会名の見直し
- ・シャッターアートの活用
- ・待ち合わせスポットの創出
オブジェ、特徴を持たせた歩道上のタイル柄など
- ・人道橋の名称
- ・三位一体（産・学・官や区・観光協会・商店会など）による東京スカイツリーグッズの開発から製造・販売までの検討
- ・姉妹交流都市や外国の都市のアンテナショップ（特産品・物産品を販売する店）の開設
- ・「4つのどうぞ」（トイレをどうぞ、お茶をどうぞ、イスをどうぞ、お荷物をどうぞ）の徹底
- ・販売品（正札、メニュー）の外国語併記への支援と外国人相手の対応支援
- ・わかりづらくなならない範囲で江戸文字、相撲文字の積極的活用
- ・露店を活用した商業の活性化

② 地域活性化

- ・新たなイベントの考案（1回限りのもの、継続して実施するもの）
- ・コミュニティビジネス支援
子育て支援、高齢者福祉他
- ・安田庭園、隅田公園の日本庭園の活用（特に隅田公園は徳川家とのつながりをいかせないか）
- ・北斎通り、両国、向島地区の景観ルールづくり
- ・忠臣蔵、時代祭り、北斎祭り等のイベントの再構築
- ・東京スカイツリー百景（さまざまな場所から見えるスカイツリーの光景）を国内外に情報発信
- ・（江戸博内に）平和記念館の開設（都の事業）
- ・観光プラザにどのような機能をもたせるか
- ・FM放送の検討

③ 回遊性向上

- ・季節感あふれるみどりと花の活用（アジサイ、つつじ、コスモス etc）
神社・仏閣の協力を得る、街路樹（並木道・花街道の創出）・公園の見直し
⇒花マップの作成
- ・廃車になった都電を払下げしてもらい、展示施設として活用
- ・ポケットパークもしくは休憩できるアートベンチ（花と音楽のベンチ）をまちなかに数多く配置

④ その他

- ・区民のみではなく、在勤者や区内事業所の協力を求める

- ・土日は日本たばこの駐車を観光バスの待機所として使えないか
- ・イメージキャラクターの開発